

特33

879

國語讀本字解
尋常小學校用
全

049222-001-7

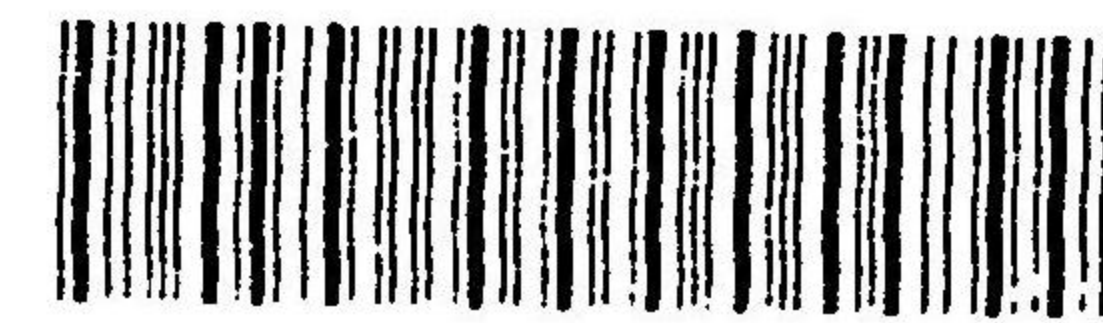
特33-879

國語讀本字解

稻葉 正信/著

M34

BEL-0188



稻葉正信著

國語讀本字解

京都 三書房藏版

特33
879

國語讀本字解 尋常學校用

卷一

一 二 三 四 五 六 七 八 九

十
卷二

●ダイ六 ゴージョー ●たい十三 人

●たい十四 大きな木 ●ダイ十五 木ノ下

モノオキノ中 ●たい十六 小さいぬ上にどの犬た

ぶん ●ダイ十七 石ノミチシルベ 右左 大が

國語讀本字解 尋常小學校用 卷一二

稻葉正信著

國語讀本字解

京都 三書房藏版

特33
879

國語讀本字解 尋常用小



一 二 三 四 五 六 七 八 九

十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

●ダイ六 ゴージョーイカダ ●たい十三 人

●たい十四 大きな木 ●ダイ十五 木ノ下

モノオキノ中 ●たい十六 小さいぬ上 どの犬た

ぶん ●ダイ十七 石ノミチシルベ 右左 大か

國語讀本字解 尋常用小 卷一 二

はむら ●だい十八 木のはかけくら

●ダイ十九 一月一日 日ノ登山ノ上 イセイヨク

●ダイ二十一 太ロー手目 ●だい二十

二口足 たふれぬ ●だい二十三 天 ●だい

二十四 見ませう ●だい二十五 川子 桃太郎力

もつよく ある日 ●だい二十六 入れて 日本

一 出る 大しよー

卷三

●第一課 春山は一めんにい ●第二課

今きよーそー 太郎次郎馬 たふれて

●第三課 白車をひいたり 田をたがやし

私 ●第四課 又土大方 ●第五課 雨作る

●第六課 時友たち 故度 皆々

●第七課 此ノ兵士舟一人水 ●第八課

●第九課 門井戸 かれませぬ

●第十課 母竹の子 少し上げます お

●第十一課 高く ●第十二課 方行き 土手

三郎 立ッテ居リマス 兄家 ●第十三課 男女

秋取る 秋の取り入れ 云ひます ●第十四課 米

麥豆 ナクテナラヌ 食ラヒルナリ マスリ セズセマ

作ル ●第十五課 梅買ひ 一錢五厘出しまし

た錢 ●第十六課 東西南北四方 ●第十

七課 雨のふる前 夕方 太ふー 色 赤色 居ます

七色 ●第十八課 人力車走 ●第十

九課 松開いた 思うたら ●第二十課 はすの糸

切れて お方 たんせいな 寸 ●第二十一課 鳥

き物 犬や猫 はなはた ●第二十二課 鳥一度

自分 見付けました 相手 ●第二十三課 月白シ 虫

夜 ●第二十四課 羽子 同ジ 時分 休マス ●第二十

五課 書物 ねつしんに フランシ 此の男の子はたれぞ

あるのーふの子にて 一宮金次郎 二人

の弟このみなり 日々に食ふ米 買ひかぬる

朝 早く からうじて なんじゆーなる 學問

をばげみたり 先生 多く たつこまれし

卷四

●第一課 家鳥 住ム 雨カゼヤ アツサ サム

サチシノグ ナケレバ 風ヤフキガフセガ

以ズ 戸 オク ユカチハル クミダテデ

アル ●第二課 猿かばつて

しがい ラダ 夜中 ヤチユウ 表口 オモテグチ 雨戸 アメド をかきむしる音 ネ かつぎ カツギ

なくく ナクク ●第三課 海 ウミ を見たる ミタ ことなき子 コナキコ あり

問 ト ひけるに ト ころ コロ を ヲ 長 ナガ さも カ

ざりなきものぞ カギリノナイ 同 オナ じ方 カタ がく ク いく百 ヒャク も ナン なら

んか ナリマセ 見 ミ ずば バ ば ミ ち チ わかる ワカル まじ マシ 海 ウミ へに

つれて行く ツレテイク べし ベシ ●第四課 ハ

テモナク シマイモ 青 アヲ イオキ ウミノ、サメノカラロホ 黒 クロ ケムリ クモリ 白 シロ イ鳥 トリ

青 アヲ イ松 マツ 貝 カヒ ガラ ●第五課 大 オホ 海 ウミ 集 アツ まり居 イ たり

先日 センジツ おれ オレ を見 ミ 習 ナラ ひ ヒ つね ツネ く用 ヨウ 心 シン なされ

かくれ カクレ つかつて ツカツテ おけ オケ は ハ 何 ナニ 物 モノ お

どろく ドロク こと コト は ハ ない ナイ にく ニク し シ と思 シ へ ヘ せ セ ん ン 方 カタ

なく ナク 皆 ミナ 々 タタ 魚 イサ 内 ウチ より ヨリ う ウ か カ ひ ヒ 居 イ たり タリ

や ヤ び ビ て テ 魚 イサ 店 テナ の ノ ざ サ る ル の ノ 中 ナカ 一 ヒト つ ツ の ノ ま マ に ニ び ビ

賣 ウリ 物 モノ となり ナリ たる タル なり ナリ ●第六課 一 ヒト の

谷 タニ 源 ゲン 氏 シ 平 ヘイ 家 カ よ ヨ ー ー い い に ニ ある アル 夜 ヨル 兵 ヘイ 士 シ ひ ヒ そ ソ か か に

其 ソノ の ノ へ ヘ ん ン 皆 ミナ 我 ガ れ レ に ニ つ ツ づ づ け け 山 ヤマ 阪 ノ は ハ げ げ ま ま さ

へ ヘ も モ ない ナイ 皆 ミナ 我 ガ れ レ に ニ つ ツ づ づ け け 山 ヤマ 阪 ノ は ハ げ げ ま ま さ

れて ケレ 一 ヒト さん サン に ニ 火 ヒ を ヲ かけ ケ た タ ゆ ユ さん サン

く ク に ニ ●第七課 四 シ 季 キ 日 ヒ カ カ サ サ ナ ナ レ レ バ バ カ

月 ツキ 年 ネン 一 イチ 年 ネン 一 イチ 月 ゲツ ヨ ヨ リ リ 十 ジュウ 二 ニ 月 ゲツ ニ ニ イ イ タ タ ル ル ワ

カツ マク 春秋 アキナキ 草木 クサキ メテ出ダシ イダシ 花サキ鳥ウタ ハナサキトリウタ

フ フナガサイヨリトリガ ナイタリシマス 夏ト云フ ナツトイ オヒシゲル オヒシゲル

風シダイニヒヤ、カニナリ カゼガデンノヒヤメ ヨロヅノ ヨロヅノ ロイ ロイ コ

タモツ タモツ ミノル ミノル 冬トヨブ フユトヨブ 木水 キミヅ チハ

レバ レバ 毎年 トシトシ 同じ ナニナニ ウツリカハリテ ウツリカハリテ タガフ

ゴトナシ ゴトナシ ●第八課 何々ぞ ナニナニトテ まづ マズ

はつ夏の ハツナツノ 梅 ウメ なり物 ナリモノ 始め はじめ やがて やがて 色づく いろづく

桃 モモ いつか いつか 味あまく あじあまく 赤らむ アカカク 秋 アキ

くれて くれて 風 カゼ ころは ころは 山 ヤマ に林 ハヤシ にみちく みちく て ●第九

課 イニナ ゆたかなる ゆたかなる こそめて こそめて たけれ たけれ ●第九

課 イニナ たけ たけ ちり ちり ●話私父妹 ワシノチチイモトイモ 次ぎ つぎ 行く いく 二人 ふたり あや

にく にく 雨 アメ ー ー じよー じよー をはり を こ こ をして を して ●第十

課 イニナ 天氣 テンキ 居た いた ころ ころ らしめ らしめ のため のため 家 ウチ 皆 みな

こー こー くわい くわい さきに さきに 立た た ず ず とは とは ●第十

此の事 このこと ●第十一課 秋 アキ のすゑ のすゑ 田 タ みのり みのり て

農家 ノウカ いそ いそ び び はし はし 稻 イネ 米 コメ 先づ まづ 稻 イネ

もみ もみ こし こし 次 つぎ ぎ ぎ に に すり すり 白 しろ 米 コメ を得 を 得 トク

白米 しろコメ か か し し げ げ ば ば ●第十二課

●第十二課 麥 ムギ 豆油 マメアブラ ウツ ウツ ハ ハ 一斗 ひと 升 しやう 合 あひ 十度 じゅうど

●第十三課 十倍 じゅうばい ●第十三課 山 ヤマ

ざん(ヤイ)ホ ホカノモノヲヨリカ ば、住めり オホバシヤ

或日(イロ) わがやの(ウチ) 雀(スズメ) 一羽(ヒツ) くるしむさま クルシヤイ

あはれがり カワイウツ かこにやしなひ カコニイレ いたはりて イ

いゆるを待ちて コシチレノナホ はなちけり カコカラダシヤ

いごもうれしげに ホシマニサレ こびさりぬ コビサリヌ あくる日(ヒ)

窓口(マドガuchi) さへづる ナイ ひまびすし ヒマカ 戸(カド) ひまこの種(タネ)の

みのこりけり トチアケテミルトヒヨクタンノタチバカリノコ まさけるに マキマシ

やがて シバカラ あまたの タクサ ひまごを得たりけり ヒマゴトク

つるして ツル ほしおきて ホシテ ほどへて後(アト)ちに アトニ 物(モノ)

みてり ミテ おどろきうちふれば オドロキウチフ あふれ

こぼる コボレ 白米(シロコメ) や ハクマイ さらさら サラサラ

取れどもく トクモ つきずして ツキズシテ 家(ウチ)こみぬ ウチガカ

●第十四課 住める スメル ば、のあり バ、ノアリ

心(ココロ)れちけて ココロガマカッタイ ふくふかし フクガ 或日(イロ) 小雀(コスズメ)

わざとこしををり コシチレナイスズメチ かなしげに カナシ 急(イソ)き

實(ホト) ほどたちて ダイアン こはいかに コレハマア た ヒト つぶの

●第十五課 末(スエ) ウエツカレタル オナカガハツ 一匹(ヒツ) ス

ミカ ルンテ 來(キ)リテ シキマ 少(コ)し メグ ンテ下(ゲ)サレ ホドコシテ 二云(ニヒ)

ケレバ メレマシ メグ マ ナイモノデモナケレド ホドコシテアゲ オ

前夏ノ間 何居タ 問フ 着物 着テ 毎日 長イ日
 者 アタリマヘダ 我レラ ヲシラ アセテ流シテ
 休マズ 集メタ ●第十六課 勉強ガしら
 太郎 五助 朝早く おきよ みけ
 蟻虫先生 冬中 夏夜 休まずに有る 柱
 時計 晩 時間をまらちへませぬ
 ●第十七課 むろの梅
 今をさかりの 向ひ 一りんも いくぢのない木
 だぞ 人様の力 雪 同じ時ならぬ花
 せつ このましい かく 去年ぎりて

●第十八課 雪 似タル 何ゾ ケンビキヨ
 見タル 形 フリ來ル 鳥 綿カ

●第十九課 昔人 或年 天子様のお使
 故 其ノ用 日本へかへるこて 山中の宿 晩

ふと見えなくなりました たづねても
 者 雪の中 遊んで 急いで 足あと 虎 立ては 足あ

こをしたつて かけて行きました 次第に
 ば 處 かなしや 食はれて 見るこ 口を開き 切

つて たかかつて ●第二十課 炭 木 栗 ヨ
 キ程ノ長サ 入レ 幾へニモツミカサ子 口

火ノマハリタルコロ ヒガイチメニ ジコクテ計リテ シアンチカニ

待チテ開キ アケ 用フル ツカ ●第二十

一課 昔心だてよき男ありけり ココロガクノ男イナト 或炭問屋

つかへたりしが ホーコー つねく モイ けんやく

古ぞーり拾ひつくろひ ソコチタトコロチ 主人 アトシ 入用

多くの オホク 買ひ入れん カ としける時 トシマシ かねて カカラ あ

らたに アタリ つひえなり イラヌモノイ まにあはせたまへ マニオアア

平生 シラシ かんじ入りけり カンジンシテ かつて カイツ 俵 ウラ こひて シテ

集め アツ たくはへおけり タメテオ 日 ヒ をへて ヒガキ 數百俵に及び

ければ ナンビヤクヒヨトイフタクサ 賣りて ウ そ ソ ばくの カンバ あたひ

元手 シラシ 炭屋 カ 始め ハジメ つひに ツヒニ ●第二十二課 神代

日の神様 カミヤマ ぬらせられました オイデニナリ 御弟 オノオト お方氣の

あらい アラ 度 タビ を レ おそむきなされた故 オオサカライナ おいか

りなされ オオサレ 大へん オホイコ くらやみ クラヤミ おどろき オドロキ

色々 イロイロ ひよーぎの末 オシロクソ 遠い國へおい下し トホクニ 面白さう

に マ まつたりうたつたり マホチマフタリ 何事 ナニコト か コトカ 少し オホシ 大力

の チカラ かけよつて イワツテ 外の神 ソノカミ 走りよつて ハシツテ 御手

を ヒノカミサマ どり ノオチサトリ 申しました オモシ 世の中 ヨノナカ 又元 ●第二十

三課 光 ヒカ 四方 ヨシフ ヨロツノ物 ヨロツノモノ アキラカニ見え

カクルレバ カタレ 天地 ソラノチ 何物 ナニモノ も アモ 處 トコロ 冬山 フユヤマ

海川村町皆一面雪氷日ガ次第ニノビテ

間歌ヒ始メルナキダス、トクノナクノガウタノ 萬ノ物日ノメグミヒオ

ソダツオホキ ●第二十四課 ひな祭ヒナマツリ 古くよりつ

たはれるフルクカラシキ 女子メウメ 遊アソビ 祭日マツリ 色々の人形ニギハヤヒ 段

白ざけチモイフ 桃の花ウメノハナ 習ナラ 上の段ウエノダン 男女オトコメウメ 云ふイハス 名ナ づ

くマサレ 使ツカ 使はるツカハル、いしよーノキモ かみ形カミガタ 今イマ のことコト ことコト な

るイマノアゲナキモ 見ミ るべしマスカ ●第二十五課 春ハル 私シ

皆みな 來キ る お待まち ち下くだ さります 持も っ て 妹いもうと めいい くく にに

参まゐ ります 氣き もち 和やわ かな 青あお いい うう つつ くく しい 着物キモノ を着き せせ 梅うめ 歌うた を歌うた げげ せせ

ルトクサヤキノエダハガシゲリテノヨマモウツタシイアチイ 梅歌ウメウタ を歌うた げげ せせ サグロスガキレノ

コエガヨイユヘウタチ まま ひひ をを まま はは せせ ますます チホノトシテアルコト、チホノトシテ 處ところ 々々

方かた 々々 にに ユユ ニニ ● 卷五

卷五

●第一課 氣候キコウ 中ナカ ニニ ハハ カカ ルル 國クニ クニ

生ウマ レレ タタ ルル フフ シシ アア ハハ セセ 思おも ヒヒ ヤヤ ルル ベベ シシ

ハゲシカラズナイ ソレトテモアソ 人ヒト チチ ソソ ココ ナナ ヒヒ

農作ノウサク サマタグルシヤマニナル、ハダケナマデツ オシナラシテ

四季シキ 程ほど ヨクヨク 幸さい 福ふく コト

●第二課 鳥トリ 者モノ 虫ムシ 蜂ハチ さんさん ばば 雀スズメ 鳥トリ 其その のの 中ナカ 最トモ

も多おほ くく 人ヒト の目メ にに ふふ るる、ものモノ 鳥トリ 類ルイ 小ちひ ささ

きみそささい トリンナ、ミツトリ 白く雪黒く炭美しき などぞ

アア カワイ あいらしき ラシイ 鶯 ウツリス きぬなどをさくよーに キレノキヌナドナ

戸をたたくが如く トチダダ 或 ア 住み ス がいをなす ワルイニ かは

る レガハ 人家に近く ヒトノイニ 山林の中 ヤマヤハヤ 春來り秋去

り ハルキテ 他の鳥 ホカノ ●第三課 歌 人形 暖かな日

花歌つて サタ 大きな出て来て 竹かうし カサシ 中驚いて

今さら イ 父母 チチハハ 遊び アソブ 鬼 オニ 通り ト 小さく チ 居ます イ 間つ

き入れました キ 様母様 サマハハ 早う ハヤ 来て キ 下さい シ 大きな オホキ 聲 コエ 耳

なくく ナキ 面白さうに オモシロ 皆さん みな 野 ノ や山 ヤマ に ニ 小鳥 コトリ お千代

子 ●第四課 母 ハハ 春 ハル さいへど ケレド 夜は ヨ ハン

はだ寒し ヒヤクシ 日は ヒ くれたるに ケタ 何 ナニ として シテ 門 カド ぐら出つ

入りつ ウケ 心 ココロ も モ こな コ な ナ いく イ たび タビ も モ ナン

夜 ヨ かせ カセ 門口 カド を ●第五課 草 クサ 木 キ ノ ノ 生長 シヨウジョウ 雨 アメ

草 クサ 木 キ モ モ ミ ミ ナ ナ カ カ レ レ ハ ハ ツ ツ ベ ベ シ シ 鳥 トリ 親 オヤ 鳥 トリ コ コ 口

ミ ミ ニ ニ ツ ツ ニ ニ 挑 ヒキ ノ ノ 實 ミ 土 ツチ ノ ノ 中 ナカ 一 ヒト 部 ブ 根 ネ 葉 ハ イ イ ツ ツ 後 ノチ チ チ 大 オホキ 木 キ

ナ ナ キ キ 八 ハチ 方 フウ 水 スイ 分 ブン ケ ケ ミ ミ ツ ツ 生 セイ 長 ジョウ ス ス ル ル ジ ジ ユ ユ シ シ ヨ ヨ ノ ノ コ コ ト ト ホ ホ ヲ オ イ イ タ

テ テ ●第六課 茶 チャ 桑 サウ 木 キ の ノ 葉 ハ 大 オホキ 切 キ 茶 チャ を ヲ 製 セイ し シ コ コ ヲ オ フ フ ハ

か カ い イ こ コ を ヲ や ヤ し シ な ナ ふ フ 同 ドウ じ ジ 種 シュ 類 レイ タ タ グ グ ロ ロ ヲ オ フ フ ハ

き キ 花 ハナ を ヲ 開 ヒラ く ク 種 シュ 類 レイ 多 オホキ け ケ れ レ ど ド い イ づ ヅ れ レ も モ 似 ニ たる タル イ イ ル ル ナ ナ 實 ミ を ヲ む ム す ス ぶ ブ 次 ジ 第 ダイ に ニ ニ ニ

つひにはニハロ 我が國ウラキ 大切オホセツなる産業サンギョウ タイセツナシゴト、カヒコカフイトチ

御手ミテづからテニ **第七課** 皇后陛下クウゴウヘイカの御

歌ウタ コトゴトサマノオツク コンゴウセキ スキトホツタキレナ ミガカ ミガカ

玉タマの光ヒカリはそはざらん タマノヒカリハテ 學マナブびて後ノチにこそ ナロコソ ま

ここのマホン ヒトノミチニカ ナサタココロ アハハレル ナアコソ マ

え間マなく マナク メぐる マ 時トキの間マの日ヒかハげハをしシみて シメラケテ

如何イカなる事コトが成ナらざらん ドシナコトアモテ **第八課** 野

我ワレ々々 勉強ベンキョウ セーダ 御ミたんじンよヨーヨ日ヒ ナワタロ **第八課** 野

川カハ ナガクツツイテ 夜ヨのウちニ ウチニ 氣キもちノよいイ風カゼ 吹フ

いて來キます 青アヲいソク空ソラ 雲クモ えんンぼー 山ヤマ々々 稻イナ田ダ イナノサヘ

つやくツヤクとして イコト 水ミヅぎハはシヨシ ツチチツ つりツリをスる ツチチツ あし

白シロさギ シロイサ 村ムラ 水ミヅ車クルマ たエず スマズ **第九課**

日本帝國ニッポンテイクの圖ヅ 帝國テイク チーハミカド、チンシサマノコト、チー 地圖ヂエツ 島シマヨリ成ナ

レル マサニ カクノ如ニク見ミユベキゾ ニミエマ

最モト大オホナル ホキイ 即スナハチ ホサズ 西セイ南ナン ナニ 間マ 下シモ手テ 臺ダイ灣ワン

近チカキコロ ホロ 領リウ地ヂ ホロ 本ホン土ツ **第十課** 御ミ持ヂ合アヒせニ

候ウケはシ イマオモチアラ 拜イハ借ヤクいたシたくク候ウケ ハイシヤクイタシ 御ミ申マシこシの

今イマ朝アサ ケサ 父チチこトもニ チチアイツ 東トウ京キョウ ツキ候ウケ間マ ツキマシ 御ミ安ヤシ心シン

御ミ安ヤシ着キのヨし ゴツツニオチヤクニ 賀ガしたタてマつリ候ウケ オロコソマ 御ミし

らせ下サゲされたく候サムロウ ●第十一課 郵便箱ユイビンの歌ウタ

花ハナの都ミヤコ 申ウラすよー さてもいそがし

またあらし ひきあげ 夜ヨふけ 取り出トすあ

けたて 差入サシ口クチ 休やすみ 品モノ々は 封書フウシヨ お

び封フウ 開ヒラき封フウ 開ヒラき封フウ おーふ

くは 御代ミヨのかけ 四國九州何シヨククウシュウナニのその 便利ベニ

球臺キウダイ灣ワン 親子オヤコ 知しらする 居いなむらに わけて

此この女メもじ お春ハル 太郎タロウ 出デ來キばえ次第シツブ

子こたちさぞかし いまのたのしや

●第十二課 船フネト車クルマ 陸リキ 海便カイベニス 類ルイ

引ひク 人力車ジンリキクルマ 大八車ダイハチクルマ 馬荷物ウマモノ 自ラミツカ 共トモニ

キニテ 力走チカラル ナホ早ハヤシ 里數リスウ 乘リテ 達スベシ

ナカリシ昔ムカシ 十二三日ジュニニチヲツヒヤシキ

●第十三課 東京市トウキョウシ 首府シヨブ 四方シホウ 人口ジフウ

カズ 徳川家トクガハ 朝廷テウテイ 治チめて 此この地チ

江戸エド 明治メイジの初ハジめ 皇居コウキョ 今イマのよーにあらため

ナニフ 天皇陛下テンノウヘイカ 丸マルの内ウチ 諸シヨくわんしよー 國會クニカイぎ

じどー 兵ヘイえい 大ダイ學校ガク 高コウ等トウ 四シ季キ

馬車バクルマ はんくわな 引ひきも切キらず 針金ハリガネ さな

馬車バクルマ はんくわな 引ひきも切キらず 針金ハリガネ さな

からん引き渡したかやいています **第十四**

課 聲 瀉てき 東の方やうく白む 町

々 なほ 郵便配り 牛乳 行きかふ 新聞すの

音す 見るうちに 朝日 明るく 始まり やがて

千げんに 萬げんに 及ぶ 職人 工場 學校

へ急ぐ 会社 玉 ほんご しがく 午前

諸學校 讀書の聲 會社 玉 ほんご しがく 午前

數を知らず ばせちむふ 内外 しがく

第十五課 電話 急ぎ 備へ 箱物 向つて

始め 何御用 品物 只今 お待ち下さい 問答 地

方 様子 遠方 話 此の糸 屋根 電話柱 向うしぜ

んご **第十六課** 電話及ビ 電信 甚ダ

便利ナル 東京 大阪 大都會 マウケラレテ

イマダ 日本全國 行キ渡ラズ ワツカノ 時間

遠キ處 ナスコトヲ 得ル 機械 局 イツ

コニモアリ スベテ 思ハ、 イタリテ 手

ツ、キチナスベシ 數分間 **第十七課** 京

都 東京 瀧車 餘、着くべし みのり 凡そ

一千餘年の昔より 明治 皇居 市

内外 名高き いご多し 北部 御所 ぶびて

アイフ 残りり イノコツテ 其の他 ホソ 神社佛寺 テラシロキ 大方 オホカマ 工業 コウギョ
スルワザ 盛ん ウツクシイ 産物甚だ多き オホク 中にも ナカ 美しき ウツクシ

織物 オリモノ ●第十八課 着る物 キヌモノ たちぬひつくる メシ

毛織絹物麻木綿 實用 ジツニナゲテハ さら キレ 蠶の糸織 カドコ

地 カイコノイト 目もあやにしき メモアヤトハメモマウヨイナトイフコト、メガマウヨウナウ

種類 シユレイ 織元 オリモト 品 モノ 本場 ホンバ

綿羊 ヒツジノ 舶來 ガイククカラ かずく イロ 身のほどく ミブンソ

太平 イクサナドナククニソ 樂しき ガク 皆大御代 オホミヨト かげぞ

かし オカゲデア ●第十九課 大阪西の方走れば一時

間半 マウチ に達す タツ 大都會 オホトカイ 云へり イヒマ 天皇程 オホミヤ 城を

築きたり シロチタ 商業 シヨウ なりき ナリキ 兵えい ヘイ 中 ナカ

程 ハカリ 内海にそへる故 ウチウミニソヒツ 海陸の交通 カイリクノコウツウ 運送 ウンソウ

等 ナド いそ便利なり イソベニ 商人 シヤニン 産物 サンブツ 全國第一 ゼンクウダイイチ

●第二十課 豊臣秀吉 諸國の城主 シヨウギ

相た アイ のひし頃 ヒシキ 名將 メイジョウ 近國 キンコク つひ

に ニ 半分程 ハウブン 平びたり ヒラヒ 信長 シナガ 家來 ケライ 智勇すぐれた

りし故 ユヘ 用ひられ モチ 一方 ヒト 然るに シカ 故あ

りて アツケ ころされければ コロサレマ た タ ちに ニ うちこり

代りて カ せいばつ セメル 力をつくせり チカラ 朝廷 チヨウテイ

姓 セイ たまひ タマヒ 重き職 オモクシ 晩年 バンネン 外國 ガイコク

兵^{ヘイ} 朝鮮^{チヨウセン} 送り^{オウリ} なかばに^{ナカバニ} 病^{ヤメヒ} を得^エ てしに^{シニ} き^キ 品^{ヒン}

●第二十一課 商人^{シヤニン} 何品^{ナニヒン} ニモアレ^{ドシナシナ} 品^{ヒン}

物^{モノ} 仕入^{シナイ} ル、 賣渡^{ウリワタ} ス 商賣^{シヤバイ} ナキ カ、ル^{カ、ル} 業^{ギョウ} トシヨ 問屋^{モンヤ}

小賣^{コウバイ} 大口^{オウコク} ニ^ニ 他^タ ノ^ノ 仲買人^{チヤバイニン} 店^{テン} 口錢^{クチゼン} 取次^{トリジ} グ 正^{テイ}

直^{チキ} 心得^{ココロハシ} ベシ^{ベシ} 信用^{シヨウヨウ} シンジラレルコト ●第二十二課 德^{トク}

江戸^{エド} 和田屋^{ワタノヤ} 古着^{フルレ} 仕入^{シナイ} 荷^ネ づくり 尋^{マシ} ねて お取引^{オウケン} 致^シ

しました 参^{マシ} りました さては^{サテハ} テハレ 不足^{フソク} 分^{ブン} 如何^{イカ} 程^{ハダ} 少^シ

々 お高^{タカ} く お賣^ウ り 申^{マシ} ました 餘計^{ヨウケイ} の分^{ブン} 参^{マシ} りました

代金^{ダイキン} 何程^{ナニハダ} か 拂^{ハラ} ひ 甚^{ヘタ} だ 世間^{セカイ} 客^{キヤク} 粗末^{ソマツ} な 實^{ジツ} に感^{カン}

心^{ココロ} だ 話^{ワタシ} 安心^{アンシン} 信用^{シヨウヨウ} します 繁昌^{ハンショウ} 買手^{カイテ} 晚^{オシ} ひ

きもきらす^{キモキラス} お祭^{マシ} 使^シ ふ ●第二十三課 四面^{シメン} 皆^{ミナ} 海^{カイ}

日本^{ニッポン} 帝國^{テイコク} 島國^{シマクニ} 東西南北^{トウシヤンペイ} 日本^{ニッポン} 海^{カイ} 太平洋^{タイヘイヤウ} こころく

く^ク ヲナ 何^{ナニ} の^ノ ハコ 外國^{ガイコク} クニソ 交通^{コウツウ} キキ 船^{フネ} 用^{ヨウ} ふる 必要^{ヒヤウ} ヲイ

商船^{シヤブネ} アキナイ 渡^{ワタ} る おき^{オキ} 禁^{キン} ぜられ^{ラレ} き 航海^{コウカイ} ナラ

つた^{ツタ} なかりし^{ナリシ} アハタテ されど^{サレド} マスクレド^{マスケレド} 其^{ソノ} の頃^{キリ} だに^ニ ツク

もふ^{モフ} ことき^{コトキ} しば^{シバ} く ひそ^{ヒソ} かに^ニ 商賣^{シヤバイ} をい^イ こ

なみ^{ナミ} き 利用^{リヨウ} して 富^{トモ} まし 強^{ツヨク} う つこむ

べき^{ベキ} なり ●第二十四課 軍艦^{クワンカン} ゑ^エ びける^{ベケル} は 一^{イツ} 種^{シュ}

前^{マエ} なる^{ナル} フルヘニ 船^{フネ} こて^{コテ} フタイ 形^{カタチ} は小^コ なれど^ド 一^{イツ} 種^{シュ}

軍艦^{クワンカン} 旗^{ハタ} ノ^ノ 中央^{チュウヤウ} ナカ へ^ヘ げたる^{ゲタル} アル

將旗 シテキ ケンカンニノツチイ かんばん フチノウ 大砲 ダイホウ 水兵 スイヘイ いかに大なる

ぞ イコトオホキ 萬一 マンイチ の用心 ヨウシン イコトサナドノトキニ 備へ ツク かんよー タイ セツ

●第二十五課 海の底 海の面 ウミノオモテ 平か ヒラカ 鏡底 カガミソコ

谷 タニ あまた オホク 高低 タカクハ 一様 イツヤウ ならず ナラズ 且つ カ かつ ツ 種 シユ

々 タ く ク 動物 ドウブツ 住み スミ 植物 シヨクブツ 生す ナマ 似たる ニト 又 マタ 小石 コイシ

落花 ラクカ ちりしく チリシク 昔話 ムカシバナシ 龜のせ カメノセ 乗り ノリ いかに

顔 オモテ ふれん フレン 如何 イカニ に ニ 出あふべきぞ デアフベキゾ

卷六

●第一課 富士山 昔歌 心あてに見し白雲はふ

もこにて おもはぬ空にはる、富士のね フジノネ 四季 シキ ことも キモ 餘り ヨリ 着 キ きた

ガヤマノイタダキテアロウトアズイリヨニシテミレバマダナカクオモヒヨウラヌソノクモリズツウヘノ
ホーニクモモナクハレワタツタソラニフジノイタダキガアツタ。エゴロアテニトハアテズイリヨニトイフコト、
フジノチトハフジノミ子、イタダキノコト、オモウタリフジノタカイコトナイフタノアアル 高い 頂上 四季 余り 着 きた

雪 ユキ 姿 サマ が ガ 正しく タダシク 扇 オウギ 美しい ウツクシイ 世界 セカイ 餘り ヨリ 着 キ きた

えず エズ 烟 ケムリ 全 ゼン く ク ●第二課 日本武尊 九州一

族 ウヂ カシラ カシラ 者 モノ 天皇 テンノウ ソムキケレバ 皇子 ミコ 皇子 ミコ 皇子 ミコ

命 イナヒ ジテ シテ 其 ソノ の時 トキ 渡 ワタリ リ 小女 コメ 姿 サマ フー フー 家 イヘ チリシモ

酒 サケ モリ モリ 女 メ ト見 ミ テ テ フシケレバ 驚 オドロク

キテ キテ カナハズ ツヒニ ツヒニ 武勇 ブユウ ニ感 カン ジ ジ

死 シ ニケリ ニケリ 東國 トウゴク 再 マタ ビ ビ ミコトノリ ミコトノリ イ

ツハリテ ツハリテ 駿河 スナガハ 野 ノ ベ ベ 焼 ヤク キ キ ナギ ナギ コナタ コナタ

カナタ カナタ 賊 ムホシシタエ オヒウチ オヒカケ ●第三課 山

上 ウヘ 來し キタ 頂上 ウエノウエ はるか トホク 下手 シラカシ 氏神 ウヂガミ の森 ノモリ 字 ジ 向 ムカ

う村の家々 ムラノイヘ 田畑 イナハ 道 ミチ 皆 みな 馬 ウマ 黒蟻 クロアリ 赤 アカ 日頃 ヒゴロ ニツチ つり

隣村 リンソン 横 ヨコ ぎり ギリ 注 ツ ぐ グ 波音 ナミナ 銀 ギン 岡 オカ

遂 ツ に ニ 入江 イリ 注 ツ ぐ グ 波音 ナミナ 銀 ギン 帆 ホ 平野 ヘイノ

うかぶ ウカブ 帆 ホ かぎり カギリ 知らぬ シラヌ カラス カラス 平野 ヘイノ

●第四課 獸 ケモノ み國 ミクニ 猫犬 ネコイヌ そ

リ リ 牛馬 ウシウマ いたづら イタヅラ 畑 ハタケ

もぐる モグル 近い チカイ 猿 サル の顔 ノオモ 力の強 チカラノツヨク い イ うゑて ウエテ 手 テ お

うて ウテ 荒々 アラアラ し シ まへど マヘド 鳥 トリ ならず ナラズ 魚 イサ して

は ハ 數 カズ ふれば フレバ 多 オホ しや シヤ ●第五課 動物 ドウブツ

ノ職業 ノシゴト サマ サマ 虫 ムシ タレ タレ 教 オシエ へ子 コ ド ド

スタクフ スタクフ 手間賃 テマシ 休 やす マズ マズ 作 ツク ル ル 蜂 ハチ 生 ウマ レツ レツ キ キ ノ

製造者 セイゾウシャ 暑中 シヨチュウ ウ ウ マズ マズ 蠶 カビコ 糸 イト

業 ノシゴト 紡績所 イトトナシム 一匹 ヒツ 五六町 ウチヨウ ニ ニ 及 およ ブ ブ 量 リヤウ 絹 キヌ

一反 ヒトサシ 織 オリ ル ル ニ ニ 足 タ ル ル ベシ ベシ 天子 テンシ ノ ノ オ オ リ リ 子 コ

着物 キモノ ニ ニ ハ ハ ナ ナ ラ ラ デ デ 只 ただ ノ ノ ミ ミ 鳥獸 チウジュウ 捕 ト フ フ ル ル タ

ト ト フ フ ベシ ベシ 蟻 アリ 坑夫 コウフ 鉄 テツ タク タク ミ ミ ニ ニ ウ ウ カ カ チ チ

築 キズ ク ク マ マ レ レ ニ ニ ハ ハ 製造 セイゾウ ス ス 燈 トウ 種 タネ 油 アブラ 石 イシ 油 アブラ

電気燈 デンキトウ オ オ ノ ノ ツ ツ ト ト 青 アヲ キ キ 光 ヒカリ 周 シユウ 圍 イ 焼 ヤク ク ク 樂 ガク 隊 タイ 鶯 ウラヒス 習 ナラ

ハズ ハヅベシ ハヅカシイコトデアリマス ●第六課 弓引き 一月二月

雀 カラス にげまどひ ニケテサ 烏 カラス おちて ウツカ 日數 ヒカズ へて ヒカズガ 笠 カサ

蓑 カサ 見えすけば シマヘバ あなごりて アナゴ 正體 ●第七

課 楠木正成 御時 高時 者 朝廷に對して テケンシサマニ あま

つさへ ウヘ 官軍 手向ひ 第一の ソノ 忠臣 チノウヂ 大軍 オホ

居城 イキ 圍まれ 智勇の チユウ 大將 人形 着せ あ

ざむき ザムキ 近づかせ チカカ 注ぎかけ ツヅギカケ つりべい ツリベイ

切り落し キリオチ なやまし ナヤマシ 勢衰へて イセホセトコロ 亡びける ウツビケル 程なく ホトナク

みこと ミコト のり ノリ ナンシヤ ナシヤ 奉じて ホウジテ 御運 ミコトノ さなむら サナムラ 勝ち カチ

たき タキ 宿 ヤド ゆい ユイ こし コシ 本國 ホンクニ 戦ひ ウツマヒ 戦死 ウツシ 實 ウツ

に ニ 勅 チク して シテ 神に祭らせられたり カミサマニ

神戸の湊川神社 ●第八課 妻 ウツメ まづしくし

て テ 天文學に志し テンモンガクニケイ 毎夜 マイヤ 夫 ウツメ 心をく

みて ミテ 助けたり 柿 カキ 秋毎 アキノ 實りぬ ミカデキ 夫婦

向き ムカヒ 近處 チカカ しのび入りて シノビイリテ 實 ウツメ くらさん クラサン 庭お

りたちて オリタチテ おひなどし オヒナゴシ 意外にも イガイニモ 根 ネ ち

な ナ なまなか ナマナカ に ニ 學問 ガクモン げにも ゲニモ 感じて

家事 カシ 修め シユメ ひいてたる ヒイテタル 學者 ガクシヤ ●第九

課 有用 ユウユウ 植物 シユツブツ 食用に供せられ シヨウヨウニソナヘラレ 器具 クシ 用

ひらる ヒラル 衣服 イフク 材木 サイモク 野菜 ヤサイ 海草 カイソウ 米 コメ 麥 マク 豆 マメ

大根 桃 栗 造る 綿麻 主こそす 養ひ 染む

松板 櫻 竹紙 製す 得べく 油薬 雑木

雑草 薪家畜 かひば 有毒の 有る

●第十課 動かシ 機械 蒸氣 石炭

火力 變化シテ 出來 質 スコブル ナミノ

炭 工業上ノ 必需品 ナシセテ 諸處 炭坑

幾萬貫トイフテ知ラズ 越後産出高 到

底 全國 ●第十一課 象の目方王 王子

臣下 集め 廣庭 引き出たさせ 量れ 獸

秤皿 無く おうけ 私 近臣

命じて 泉水 さて 何の役 やがて 重み

舟べり 着く程 附けく 今度 石 残らず 總

高 何貫 何々 重量 書付 即ち 一同 感心

●第十二課 松山鏡 越後の國 夫婦の者 母親 瓜を

二つの生きうつし 病 いまはのきは 我

れは 程なく 身 なき後ち 一枚の鏡あたへて

●第十三課 出來し ま

この母 忘れず こひしきまに なる

くくも うれしや ありくこ あらなつ

かしの 呼ぶこそあはれ 思

ひこみ ヒモロサ もの ハナシ たりける マシヤシ 知りし
いちらし ウガリ びりて ウガリ 聞き傳へたる コノハナシ 皆 ミナ なきにけ

り ナキマ ●第十四課 北海道 地圖 開キ 本州 羽根

形 カサ 島 昔 蝦夷 千島 ヒキクルメテ ニシテ 人種 近年

本邦人 ニホンジン 移住 イコウ 次第 シレイ 第二減ジ ニヘリ 僅ニ ワザカ

餘セル 顔ツキ 言語 ゴゴ 風俗 フウゾク 異ナリ マカヒ 石炭ニ富

鯨 海産物 ウミノモノ 都會 農學校 ●第十五

課 德川光圀 城主 シロノアサノ 召使 メシヤカ 女中 メシヤカ いこま

を與へ ヨリ 製紙所 セシ 見せしめられたり ミサセラ 城折

から チノトキ 寒中 カンチュウ なはて道 ミチ たへ難 ガタ けれど

女中等 メウチュウ こらへつゝ シヤク いこはず カマ 立ちはたら

きつゝあり ハタライ 楮の皮 カミチトル ひたす ツケ 去る トル うち

たゝく クダ 交へ マセ 張り 子供 コドモ 足 アタ おりたちて オリテ

器具 クキ 其の様 サマノアリ いたく イカク いたましき イカシキ

有様 アリサマ を 語り カキ 骨折 コソク 造らるゝ ツクリ 決して ツクシテ 粗末 ソボロ

深く フカク あはれみ アハレミ 學問 ガクモン を好み コトナスキ 忠君 チウキョウ チキニチナ

●第十六課 鍋盗人の裁判 村人 盗み おの オノ

小屋 コヤ 持ち モチ 歸り カヘ 用ひ ヨウヒ あらはれて アハレテ 引かれ ヒキカレ けり ケリ

受け ウケ 通り トオリ 半間 ハンカン 歩 アヒ 両手 リョウテ 使 ツカ ば バ ま マ こ コ ころ

しく シク 如何 イカニ も モ し シ ち チ した シタ し シ 警察官 ケイサツカン 遂 ツギ に ニ 向 ムカフ

ひ 然らば シカ 其の方へ オマ 罪 ツミ さむれ カヘ 相違ない チガヒ 喜 ウレシ
 び 一禮して シテ 持ちかへらん モツテカヘル 急ぎ止め ウツスル 待 マツ
 て 恐れ入りて コソウサシテ 白状 シブツクシク ●第十七課 鑛 クワン
 山ノ話 ヤマノワタシ 金ヅチノ音 カナノネ ヤカテ ヤカテ スサマジキ スサマジキ 狭キレ ヒヤキレ
 ーる アツ 鑛石 クワンシ 積ツ乗セ走ハシり穴 アナ 底知レヌ ソコヲシラズ ホド ホド
フメホド 深く フカク 車井戸 クルマヅル 箱上り ハコノボリ 礦物 クワンブツ オビタムシク オビタムシク
 盛ラレ シメラル 器具 クヰ 試ニシメ シメ 一秒毎ニ ヒトツブノマダ ナヅル ナヅル 氣味 キミ 言フ イフ
 ベカラス ベカラス イヘトモ イヘトモ ヤ、アリテ ヤ、アリテ 燈火 トウカ オボロゲ オボロゲ
 何十尺 ナンジュウシツ 地下 チカ 路通シ ミチトヲス 横穴 ヨコアナ 坑夫 クワンブツ 下へ シタヘ
 くトホリ下ゲ クトホリシタゲ 幾階 イツカク サル場合 サルバウヘ クジ

キ キ 或ハ アルハ マレニ マレニ 命ヲ失フ イノチヲウシマフ アヤフキ アヤフキ 利 リ
 益 エキ 鐵坑 テツク 似ヨリタルモノ ニヨリタルモノ ●第十八課
 黄金 オウゴン 王 オウ 器物類 クヰブツルイ 倉にをさめ クラニニ 折々 オチオチ 第一 ダイイチ
 の樂み オノノミ 王女 オウメ ちよーあいの餘り チヨウアノアノヨリ 例 レイ
 の通り オノトオリ 金光り オウキョウ ふいこ フイコ 現れ アラワレ いかにかに イカニカニ 幾ら イツラ
 驚き喜オドロキウレシんで ウレシニ 向ムカう ムカフ 笑ワラつて ワラフ 術易い ジュツヨク こゝろ ココロ 明日 アス 姿 サマ
 ●第十九課 明アくる朝 アサ 掛カけられる カケラレ 机 ツクシ 書物 シヤモノ
 柱 ハシラ 窓掛 マダカ 限りの物 カギノモノ 變カりました カレマシタ 庭ニハじゆー ニハジユウ 歩アいて アヒ 燈 トウ
 ろう ロウ ほん ホン 奥殿 オクテン 朝飯 アサメシ 來キられました キマシタ 香カひ カヒ
 無ムく ムク 少シ々 シツ 案外 アンガイ 御飯 ミツメ 膳の上 テンノウヘ 椀 ワン こらへかゝて

困コマつて 大變ダイエン 忽タチマち 金カネの像イミ 醫者イシヤ 狂氣キヤキ 草木クサキ
くクくク 心得ココロエ 願ネガひさサげ 草クサ木キ

●第二十二課 水ミヅノ功コト用ヨリ 錢ゼン 得トクラルレバトテ

粗末ソマツ 誰人タレモ 大切ダイセツ 生活セイカツスル 米コメ 煮ニレバ 飯イ

酒類シウライ 造ツクリ難シ 織物オリモノ ケガレタル 洗アラフ 水ミヅヲ

要ヨウス 貴キキ 空クウ氣キ 次ツギテ 鉢ハチ 植ウエラレ 美ウツクシキ 久ヒサシ

ク 與ヨヘズ 動物ドウブツ 血ケツ肉ニク コトゴトク 目メニフル

岩石ガンシ土砂ツチスナ 飲用インヨウ 働ハタキ 蒸氣シュウキ 諸工場シヨウコウバ

機キ械キ 功コト用ヨリ 廣ヒロキ アゲテ言イハフベカラズ

●第二十一課 水ミヅ鳥トリ ままががひひもの 古池コイケ 渡ワタリ歩く

羽根ハネ輕カサく ううぬぬばばれん 多オホ藝ゲイ 始ハジめ 鳥獸チヨウモノ 有アるま

じじ泳オヨぐ 能スく 猫鼠ネコネズミ ●第二十二課 荷馬カマ 御身オンミ

物荷モノネふ 藝ゲイ 空ソラ高タカく 歩アるま 及オぶ

ままじじ ううののふふー 步アるま 歩アるま みににく

聲コエ 鳥カラス 聞キきこるし 知チらずや 古寺コジ 軒雀ケンセツ 巢ス

●第二十三課 義俠ギキヤクなる 古寺コジ 軒雀ケンセツ 巢ス

くくひひ 卵タマゴ 雛ヒナ 育ソダて 見ミ付ツけ 屋根ヤネ ううかかひひて

んんここすす 防フセむんこ 敵テキ 強ツヨければ力チカラ走ハらず

狂氣キヤキ や、隔ヘれる 敵テキ 強ツヨければ力チカラ走ハらず 思オモひけん

カライソウナ トオモウタカ くらげばしもて シクテス たやすく 救ひけり

こしまなる モルイ おそれずして ふるまひ

十四課 隣國 地のつき 隔て、 へだつ

る 過ぎず 支那帝國 稱す、 氣候

國人 衣服、 すこぶる 古代の風、 異なれど

も 寒さ強く 暖か常に 實 頭髮の周圍

後ろにたる 交通して 古來 種々の關

係 皇后 秀吉廿七八年の役事實 **第二十五**

課 征清軍 明治の二十七年 亂れし折ぐかし

大國の威におこり はづかしめ、 なほ

無法 陸軍海軍 一齊に いきほひたけく 進

軍す 沖 日の御旗、 正義、 などあらん

先づ 手始め 勝利、 目ざましく、 海洋島 義州 勢

ひ破竹、 攻め 和をこひぬ、 末 獨立

せさす 名譽、 戦争 美名、 こころく

光、 くまなく、 名もなき里

卷七

第一課 第一代、 天皇、 申シタテマツル

スル オハシケルガ、 其ノ頃、 惡人ドモ

ピコリテ、 良民、 テクルシム、 由、 平ゲン

トツテシ マウ ヒキ井テツレ ス 進ミ ト 東征 ヒガシノクニチ 悉ク亡ビケレバ

レマイマシタカラ ゴ 皇居 マ 大和 ヤマト 御位ニツカセラレタリ チンシサマニナ

皇統 スウチ 陛下 ヘイカ アタラセタマフナリ ゴザリ ●第二課

午後 カホル 乗り出帆 シツパン 暮れ方 カケル 翌日 アツ 午前 マウ 着く

最も古き開港場 イチバンムカシニ 出入 シュツニュウ 貿易繁昌 カイゴクノガサカン

炭坑 セキタン 上陸 アガル 熊本築きし クマモト 兵營 ヘイエイ 西南 スイナン

戦争以後 サイゴウカモリ 發 ハツ 良き港 ヨキミト 近傍 キンボウ 西端 セイタン 國 クニ

防上 ニホンノクニ 大切 タイセツ 兩岸 リョウガン 堅固 ケンコ ●第三

課 西部 セイブ あたり アタリ 波平かに水青く ナミタイラ 景色 ケイシキ

面白し オモシロシ 右手 ミギテ 恐ろしきうづ巻あり オソロシキウヅマキ 名所 ナゴトコロ

はんくわ ハンクワ 帆柱 ハンジュ さなむら サナムラ 貿易 バイエキ ●第四

課 朝廷に仕へ奉りて チンシサマニチツ 忠義の心 チュウギノココロ 悪 アク

き人にさんげんせられて クニイヒトニラル しりぞけられき シロゾケラレキ

いさゝかも イササカモ 君恩の高きを思ひ出で クニサンノタカサナヲオモイダシ

感涙にむせびき カンナミニムセビキ 明かになりければ アカカニナリケレバ 正一 テイイチ

位 位官を賜はり イイワンヲタマハリ 神に祭らせられき カミサマトアガ 能 ノウ

書 シヨク 書法の神 シヨクホウノカミ ●第五課 氣立てぞや キタテゾヤ

顔ぶりに花なくも カオブツナクモ 言葉すくなに コトバズクナニ しばま

ぬ花の色 ヌハナノイロ 在る アル ふたじうご フタジウゴ 我身つめりて

いたさ知り イタサシリ 料理法 リョウリホウ 育兒算術 イクニサンジュツ 證 シ

文 人手を借らぬまで プロトニタノマメツ もつぱらに シトス その事

々を成就せん シトニゴトモ ●第六課之圓 越高 賣上

卅 掛金 斤 仕入 カキ 薪炭料 タキキニス 殘金 カチ ●第七

課 順序 ソユ 出來 苗 苦勞心配を重ね カサ かしぐま

で クマテ 幾許の手敷をへしぞや ドノクライチカズ 盛りそをあん

ばいするに ツケル 製造 エシラ 衣服 キモ 機械 染めて 織り

毛織絹麻の如何に ライ 幾坪 定め タキメ 地ぎよーを固くし

土臺 造作をなすなり ノデアル 表具師 一軒 たてを

ふる マサシ 人手を要する カトル 思へ カンガヘ しからざるは

なし モソハナイ ●第八課 空氣 しのゝめの空白みて アヨ

野末 ハシ 包む 戶外 ソト 散歩 ツクロ 心地さわやか

なるべし チガヨイ 新せん シキ 呼吸 ハイタリ 生活 ナルニ かなは

ぬ メナラ 周圍にみつ メサニアル 忽ち シキ 爲め 吸ふ 能はざる

清き イ 健康ニ益あれど カラダチタツシヤニ 有害 イ 多人數

狭き室 ヘナ 頭 證 シヨ 流通 リトホ 掃除を怠らず ナマケズ

新しき ●第九課 蝶 赤白黄色 舞ひ遊ぶ 香 ヒホ

うちつれて ナツレタ 木かげ カゲ 宿 驚き ビツク 立ちまよふ サロク

おこづれて タズチ 請ひける マシタ 縁 宿かさん ヤドチシ うち

しなれ マシタ 頼まん シヨ のう ナ 首かたげ シアン もろこ

も ヨニ つゝも ラナガ 涙 日の神 サノ あはれと御らんじて ロカ

イソトオ 拂へのたまふ下に さし出でつ

ロガチツ テキチ ヲれしげに **第十課** 鳥獸合戦

或 兎 森 歩いて 鶯 感心 さだめし

行きました アトカラツイチ 巢 餌 腹さんくに 程た

つて ガイブントキ 此の體を見て 他 見舞 氣の毒わ

し殿 ノサマト 承知 敵 用意 まさごへ 虎熊助け

蜂 空を飛ぶ 揃つて 加勢 ケス 大合戦 **第十一**

課 虎 評議を開きました シマシダシ 番 かけ引き 尾忘

れまいぞ イキマセント 蚊相談 委細 キコト 太陽 サン 互に 勝負

マケテ 謀 おつ立てゝぬる ナルチ ちくりこ 大變 かくこは

知らず ワカラズモ 度 勢に乗つて ニノツチ 大勝利 クサイ 約束

第十二課 母君 サマ、 かりそめ シヨット 朝敵 カタキ

まねびに 餘念なし ノコトチオモウロマガナイ みかど サマシ 賊兵 フルキヤ

山名 一萬餘騎 ノイマンアマヨ 一戦 ノイツクサン 破りし マカシ 武略 ハカリ

尊氏 起こし 兄弟寄せ かうべをば取らるゝか 一族郎等

づれか ラカチ 參内 トコロヘユク 暇たまはりつ シマシマゴイ 一族郎等

ヤムライイ 矢さけび ナン 群りきそふ フナクル 身分 小勢 スクナイ 遠

矢 残りすくなに ガスコシニナル 一同に ナン 孝子 一ゴ いかみ

第十三課 一泊 トマルン 引き返し ルモ 工業 商

業 離宮 シンシマノ 寫真 勝りて マダウエ あまた サン 軍港 ノンク

造船所 ヨシセシヨ おもむく クニ 横濱 ヨコハマ 也 ナラ 碇泊 イカリ 商館 シヤカン

軒 シヨロバニ ●第十四課 修練の功 シユレン 雇ひ新聞 ノテガラト 雇ヒ

廣告募り コウコク 件のラ クダシ 一室 イツシツ 様子 ヨウシ 用ひん モトメ ヤロ ヤロ 定めて サダメテ

試み シメ 試みけれど シメテモル 新たに アラニ 許 ヨク 申しこみ ウケテ ける ケル ヲ ヲ テキ テキ

例の如く レイノトウ トイ トイ モ モ 覺えず サトハズ 上手 ウツクシ 勉強 ベンキヤウ 答へ果して コタヘテ

立身 リツシン 番頭 バントウ ●第十五課 塗物 ヌリモノ ト焼物 ヤキモノ 日常 ニチジョウ

器具 クキ 膳碗皿 テンワン 鉢 ハチ 漆 シ 臺箱 ダイコウ 世界無比 セカイムヒ 名産 メイサン

各地 カクチ 粉固 コカク ●第十六課 日用 ニチヨウ 細工物 サイウモノ 鍋 ナベ

釜鐵瓶 カンテツビン 長持箱 ナガモチコウ 火鉢 ヒバチ 机瓶 ツグセカン 通例 ツウレイ 種類 シュルイ 萬國 マンコク 万 マン 國 コク 万 マン 國 コク 万 マン 國 コク

ぐひなし地 グヒナシチ や ヤ 限りは知らぬ カズノロ 張る チル 大切 タイセツ イ イ

ゆめ ユメ ●第十七課 有用 ユウヨウ 金石 キンシ 金物 キンモノ 數多 スベシ

銅 ドウ 黄金 オウゴン 價貴 アタイガタ 貨幣 カヘイ 飾り カザリ 金ニ次 カネニジ グ グ

電線 デンセン 極 キョク メ メ テ テ 堅 カチ キ キ 金彈丸 キンダマ 活字 カツジ 活字 カツジ 活字 カツジ

水銀 スイギン 重 オモシ ニ ニ 印材 インサイ 但 タ シ シ 普通 フツブ 家屋 カガヤ 建 タテ

築 キツク 欠ク ケツク ベ ベ カ カ ラ ラ ス ス 藥品 ヤクヒン イ イ ト ト ●第十八

課 夕立 ユフダテ 大空 オホソラ あ あ わ わ た た ヲ オ し シ げ ゲ に ニ 走 ハシ る ル 蟬 セミ 雷 カミナリ

押し渡 オシワタ る ル ひ ひ ら ら め め き き ヲ オ た た つ つ る ル 桶 バケ か か し し ま ま し し く く 臺 ダイ

所障子 シヨウジ 全 ゼン く く 晴 ハル る ル 窓 マド 風 カゼ さ さ わ わ や や か か に ニ 心 ココロ 地 チ ふ ふ

瓦屋根 カワヤネ い い さ さ ぎ ぎ よ よ し し ぬ ぬ ぐ ぐ ひ ひ た た る る よ よ 似 ニ 甘 カン ク ク

●第十九課 塩 シホ ト ト 砂糖 サトウ 上製 ウエシヨウ 外見 ガイケン 似 ニ 甘 カン ク ク

アンバイ 植物 クキ 熱キ 臺灣 汁 煮ル 加
 ヘテマゼ 去レバ 冷ス 砂糖分ハ 自ラ 精粗
 コマカイ 鹽田 濱ニ 満チタル 蒸發 鹽釜ノ烟
 ゴ 第二十二課 暑くてたへられぬ 船
 長イシヨ 令を傳へて 望みの者 許す 泳げ 船員
 たちは 喜んで 先きに 着物 大砲係 老
 人 連中 面白さう愉快さうに 泳ぎくら 平
 らで 幅 うねり 急に 後れました マケマ 氣を
 もみ シンマイ きたんに シニョー だしぬげに コイ さげんだ イロメ 本
 船 第二十一課 すさまじい 頭 近づいて

ふりたて アゲ にげる ニゲ 狂氣 呼んだ 助け船
 間に合ひ 始めて 一所懸命 助かり 寄つた 急いで 彈丸
 きよりを量つた ハカツタ 向い 息をのみました シマシマ せ
 まつた ツカヨ 残念 きたん ヲヨ 一發高波 走つた イタテ 暫く
 一面 程なく 涙 第二十二課 方リテ 列レル
 イル 成レリ 氣候 暖カ 覺エヌ 乏シキ 故 常食
 ノタイ 布等 昔 某代々 ミツギチ ケンシヨ ン ケンシタリキ
 マシマゲ 以後 アカワ 華族 列セラレ レシラ 領地 首府 山脈 縣
 廳 更ニ 支那ノ 屬島 ツキナノヨ ン 半 中央 ナカン 山脈 ヤマツ
 地勢 リサマ 一二部 ツフメ 住ミ 住居 サスマ 無知ノ 民 キヒト 性質 レウマ

キ アラクシケレドモ 國風ニ化セラレ 熱
 帶 アツキ 四時 アイツ 最トス アイナパン 良港 ナトキミ ●第二十三課
 數夥シ ンアル 皇室の御先祖 ゴセンゾノ 國家の爲め タメニ 功勞
 フテカ 徳高かりし人 シコナイガタマ 祭らる 本意 キドコロナ 方々 な
 ほマ おはします ニナル 智徳 コナイチ 外ならず ナイ 尊きこ
 はハ 歴代 ギイ みさゝぎ ノナハカ 大社 日本武尊 菅原道
 眞公 湊川神社 楠木正成公 豊臣秀吉 徳川家康殿下 身
 分高からず ヒクラガ 敬はれ 戦死 シニ 對して ヲカ 敬意 コノロ
 表す ヲス 勿論 所行 ナサラマ

卷八

●第一課 國史の大要 今を去る(こと)カ 萬
 世一系の トスジノ 皇統連綿として スジロキツツキ 農事 ノシゴト

改め 朝鮮 來朝し ヘキタリト 熊襲 勅 ノリ 親征 テナサルセーバツ 征
 服 コーサン 書籍 カン 皇太子 オンアトリ 文字 醫學 曆法 ミコ 學

藝 佛法 傳來す テキマツ 信じ 争ふ けんい せ ふるふ
 フリマ 專横 マガ 益 ダン 即き 國運 カン 美術 テモノナドノコト 榮え

●第二課 出發 風景 ヤケン 海岸 ベウミ 線路 ノミナ 見物
 氏 ヲツ 廟 マヤ 結構 説ク 建築 万 稱セラレハ 大ム子

●第三課 鯨 浮び 漁夫 じ もり 荒れ
 はては 七てん八こー しこめん さし

もの カサ 勇ましき 漁獵 リヨ かたくの カキ 抱き情深 フカシ

き若しめを ヤシ 然り ●第四課 金坑 キンコウ 通じ

●難處 ナンジツ 温泉 オンセン 一周し シユウ ●第五課 家

臣 シ 書状 シヨウ 云ひこしぬ イハヒコシヌ 積み迎へ ツミムカヒ 言ひ騒ぐ イハヒマカ

●末代 マツダイ 賞味あれや シヨウミアレヤ ●第六課 功用

●家財 カザイ 賜 タマフ 煮焼 ニヤク 料 リョウ 貯フル チル 降り枝泉 オリエノイ 樹木 ジュモク

留メス 劣ラヌ 事業 シゴ 生長セル シヨウ 生立タス シタス 容

易扱フ ●第七課 摸範 モハン 貧村 ヒンボ からく カラク

生計 シケイ 販路 バンロ 全村 ゼンソン うゑにせまりぬ ウエニセマリヌ 某 ナニカ

ばいぶーし バイブーシ 勤め年をおうて チンメトシヲオウテ 増加 ゾウカ 齡 レイ 新開 シンカイ

地 チ 戰場 センジョウ 名譽 メイヨ 本望 ホンモウ 製艦費 セイケンヒ げんの ゲン の ノ 一 イチ 休日 キウジツ

●働き 説 セツ 従ひ元日 ツグヒゲンジツ 否 イナ 当然 トウゼン 勤勉 チンケン 忠 チウ

●示したる シメタル ●第八課 輸出入品 シュシュツピン 生糸 シヨウシ 陶器 トウキ 漆 シツ

器 キ 國産 コクサン 補ふ ホフ 貿易 ボウイ 貧富 ヒンフ 産業 サンギョウ 盛 セイ

衰 サイ おしなべて オシナベテ 盛大 セイダイ 証據 シヨウコ 振はざる フレハザル

●富強 フキョウ 希ふ コヒカフ 能ふ ノボフ けぎり ケギリ ●第九課 みく

●に ニ 筆はじめ フデハジメ 印度 インド 隣る トナリニ 共和國 キョウワコク

●英吉利 エイキリ ●第十課 大半 ダイハン 殖民 シヨクミン

●競ふ勝敗 ケイブシツパイ 源 ゲン 心々 ココロココロ ●第十一課 西

京初年 攝政 けんりよく 加はる

武人 重く 勢力 強大 亂 起りぬ

敗れ 専横を極めし 弟 遣はし 政權

●第十二課 貯蓄 拾錢 諺 塵 粗末 無

用の 費 省き 貯へ 相應 額 必要の品 資本

の 補ひ 天災 火災 疾病 急 安全

銀行 預く 利子 預け主 求め 返附 所

●第十三課 會社 商業 預け主 資金 利益 配當

有金 僅かニ 内外 直チニ 資金 利益 配當

分組 仕組 會社組織 大抵 同志ノ

●第十四課 損失 分擔シテ 償フ 貸シ 若干 便益

進み 鐵瓶 製鐵所 離れ 生鐵 同類中 釘

砂鐵 拾はれ 鐵 第十五課 小刀 堅き 刃物

劍 武器 彈力 鋼鉄 艱難 へたる

務む 寸時も 慰め 追々 命縮む 揃へて 腐り

●第十六課 専心一意 技藝 生得

才 工夫家 幼少 長じ 小刀もて 當時

みじゆく 研究し 壯年 安からざり

術 苦心 究め 多少 世を益しき

あづかりカ、工事トシ、一だんウツ、大功オホキイ ●第十

七課 身體 構造コウゾウ 天井 座敷 相親み 相應の務ソシゴト

皮と肉 伸び 最上部サイジョウブ 比すべくヒスベク 萬事マンジ 支配シヤク

爲さん 考へ 無數ムスウ 命令メイレイ 報知ホウチ 線セン

●第十八課 中央チュウヤウ 腹部ブツブ 續く 総て 消化シヨウカ

腸チウ 左右サウユウ 血管ケツカン 早速サツソク 空腹クウフク 齒機シキ

關和合 ●第十九課 根幹コンカン 枝葉シエツ 才學サイガク

終シュウ 不幸フコウ 勉勵ベンレイ 物ノ理モノノリ 虛弱キョジャク 復スフクス

オシナベテオシナベテ 基モト ツクツク ソランジソランジ 不潔フケツ 歸キ

●第二十課 政元セイゲン 無道ムダウ 歸キ

勇將ユウシヤウ 平定ヘイテイ 餘力ヨリキ 中途チュウチュ みまかりきミマカリキ

使節シセツ 尊王ソンオウ じよーいジヨウイ 唱ナウ 驗ケン

然ゼン たりタリ 親ミヤカ 採サイ 用ユウ しシ 武備ブビ を張テ らせられラセラレ

憲法ケンポウ 立憲君主政治リツケンクニシジ ●第二

十一課 租稅ソノ 兵役ヘイ 生命シヤウメイ 財產サイサン 過ス 國民クニミン いつく

しみカライ 御意ゴイ 保護ホゴ すス 多大オホタ 擔當タンタウ 納オク む

理由リユウ 搆カウ ふフ るル 内亂ナイラン 兵役ヘイ に服フク すス 常備ジョウビ

所以ソウイ 徵兵テイヘイ 滿マン マル 兵役ヘイ に服フク すス ●第二

後備ゴビ 補充ホクキョク 現役ゲンギキ 豫備役ヨビギキ 年限ネンゲン 二大義務ニダイギョ 雙眼鏡ソウガンキョウ 紛失ブンシツ

十二課 公德コトク 損害ソンガイ ソン 社會シャカイ ナカノ 公園コウエン 雙眼鏡ソウガンキョウ 紛失ブンシツ

ナナク 風儀 フー。ギ 上流 ウエリウ アクタ ゴミ 立札 タテジ 書 ランガキ イタヅラ

サロ 警官 ケイカン 妨ゲ サマ 行ヒ ユク 心シテ ココロ ●第二十三課

フナ 船つき フナツケ 便りよし タビ おのづからなる シゼン 商國 シヨク

クニ 航海術 コウカイジュツ 散り チ 海圖 カイヅ 潮のうづと寄る處 シホミツノウヅマケ

トコ 長所 ナゲシヨ 國ふり クニ かみ カミ み ミ ためしすくなき ニヨリタ

ナスク 君子國 クニ いしずゑ イシズエ

國語讀本字解

尋常小學校用終

明治三十四年五月二十日印刷

明治三十四年五月廿五日發行

(定價金拾錢)

著者 稻葉正信

發行者 村上勘兵衛

發行者 杉本甚之助

發行者 松田庄助

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 佛教圖書出版株式會社

發賣所 全國各書林

